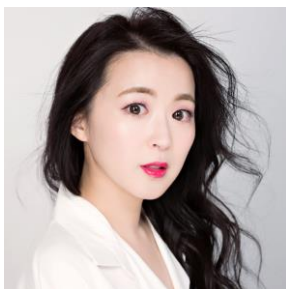


カンハンナ氏がiUの教授に就任 2025年度からプロジェクトを推進

iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）は、起業家、国際社会文化学者、歌人であるカンハンナ氏が2025年度から正教授に就任することを決定しました。

iUは「プロジェクト教授」と称する非常勤の正教授ポジションを創設します。学生や客員教員・研究員が参加するゼミを開設することを通じて産学連携プロジェクトを率います。2025年度までに総勢10名程度のプロジェクト教授を採用する計画で、カンハンナ氏はその内の1名です（面白法人カヤックCEOの柳澤大輔氏の就任も決定しています）。

■カンハンナ氏 プロフィール



国際社会文化学者、タレント（ホリプロ所属）、歌人、株式会社 Beauty Thinker CEO。
淑明女子大学（経営・統計学）卒。

横浜国立大学大学院都市イノベーション学府博士（国際社会文化学・メディア学）。

元数学オリンピック韓国代表。韓国でニュースキャスターなどを経て2011年来日。

NHK Eテレ「NHK 短歌」にレギュラー出演、テレビ東京「未来世紀ジパング」にも出演。

2024年現在は、NHK ラジオ「ハングル講座」、TOKYO MX「モーニング FLAG」に出演中。

2019年、第一歌集「まだまだです」を出版し第21回「現代短歌新人賞」を受賞、史上初の外国人受賞者となる。

2020年11月より100%ヴィーガンコスメブランド「mirari」を創業し、グローバルにブランドを展開。

2022年にはビジネス書「コンテンツ・ポータル」を出版。

■担当プロジェクト「global contents lab」

「今の時代に最も大事なものはコンテンツ力やストーリーテリング」というテーマで、世界各国のコンテンツやブランドのストーリーテリングを徹底的に調査・分析し、日本の様々な企業のコンサルティング事業を目指します。また、iUの学生たちとともにグローバルを視野に入れたコンテンツ制作やブランド立ち上げなど、新規事業にも挑戦します。いわゆる「超コンテンツ」、「超ブランド」の人材育成を行います。

■カンハンナ氏のコメント

この度は革命的なプロジェクトにご参加させていただくこととなり、大変嬉しく思っております。

グローバル人材の育成のためには、視野を広げて海外経験を積むこと、そして自分の物語がコンテンツ化されることだと思います。

このプロジェクトは世界で活躍する人材教育にも繋がると期待しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

■ iU 中村伊知哉学長のコメント



学者にしてタレント。歌人にしてアントレプレナー。マルチな国際人、ハンナさんに iU のプロジェクトを率いてもらう。なんて素敵なことでしょう。global contents lab という「コース」で、世界的なコンテンツやブランドを学生たちと作っていただきたい。ポップカルチャーの新機軸を一緒に立てましょう。ハンナさんが経営するコスメもプロジェクトとして魅力的。楽しみです！

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

情報と経営でイノベーションを起こす人材を育成する、デジタルとビジネスの国際大学。

AI、ソーシャル、web3、eスポーツ、デザイン思考、メディア、VR/AR、マーケティング、オタク、メタバース、セキュリティ……。プロジェクト授業、4ヶ月インターン、そして恐らく世界初の「全員起業」。

全員が起業に成功すれば就職率がゼロになるので、目標就職率ゼロ。 起業数42、起業増加率日本一。

だが多くは失敗する。失敗から学ぶ「失敗大学」。コンピテンシー：行動偏差値がトップ級。 結果、就職率97.5%。

連携企業800社、客員教員1000人。学生より教授のほうが多い、プロのコミュニティの中で学ぶ大学。

研究所「B Lab」をベースとして、地域DX、超校歌、超人スポーツ、ニューロダイバーシティ等86プロジェクトが走っている。

2025年度には、eスポーツの学習・活動・インターン・起業を行う「eスポーツコース」も設ける。

入学式、卒業式などイベントは学生が企画・運営。自分でつくる大学。デジタル1st。日本初のPC・ネットあり入試を導入。

理念は「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する」。

それ、おもしろい？ それ、あたらしい？

■学長

中村伊知哉（なかむらいちや）



京都大学特任教授、東京大学研究員、慶應義塾大学特別招聘教授、デジタル政策財団理事長、CIP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、大阪・関西万博2025 事業化支援PTプロジェクトリーダー、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくるーアフターコロナはネコの時代ー』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13

・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

・学生数：744名 ・専任教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■ 学びの特色

「ビジネス」「ICT」「グローバルコミュニケーション」この3つが学びの柱

① 論理的思考で世の中に変革を起こす【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習

さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

② 情報通信技術の可能性を知る【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける

プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

③ 国境を越えて世界中の人と協働する【グローバルコミュニケーション】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、全員が在学中に起業にチャレンジ。希望者には事業化まで伴走するプログラムや資金提供、大学の所在地を使った登記などをサポート
- ・オンラインを活用した授業サポート：自ら積極的に学ぶための環境を用意

■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp